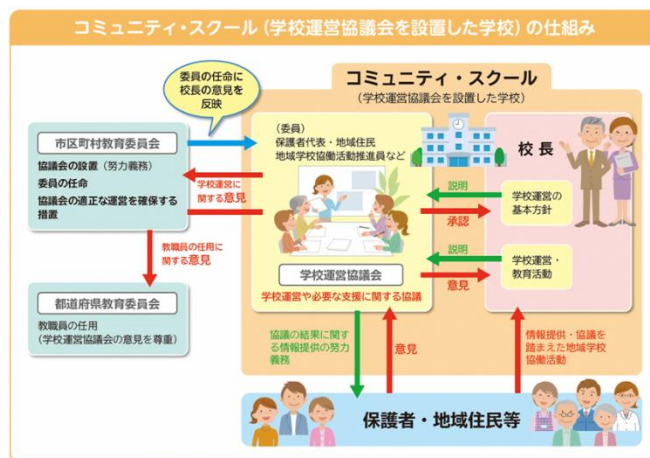


コミュニティ・スクールについて

(1) コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置した学校のことで、学校運営に地域の声を活かす制度であり、学校と地域を取り巻く課題解決や魅力向上のための仕組みである。学校と地域が同じ目標をもち、保護者や地域の方が教育の当事者となることで、子供たちへの教育をより効果的に進めていくことができる。

本市では、令和2年度、先行的に竹原小学校を含む市内4校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールの取組をスタートさせた。令和3年度には市内全ての学校に取組を広げ、今年度、コミュニティ・スクール全校展開5年目である。



（これからの学校と地域、文部科学省、2020）

(2) コミュニティ・スクールの取組【忠海学園】

忠海学園9年生は、総合的な学習の時間に「忠海未来創造プロジェクト」として、地元の食材を使ったお菓子で忠海をPRすることを計画した。そこで、学校運営協議会において企画をプレゼンテーションし、お菓子の種類や資金調達の方法を委員と協議することで、課題を一つ一つ解決していった。

最後には、広島空港で行われたイベントにて、地元食材を使ったカヌレやクッキーを販売することができ、忠海のアピールに大いに繋がった。

生徒は、自分たちの学習や取組が学校運営協議会委員や地域に支えられながら実践できたことに大きな達成感を感じていた。



忠海学園（学習活動の様子）

(3) コミュニティ・スクールの一層の推進に向けて



コミュニティ・スクール推進に向けた研修
（令和6年度「地域とともにある学校づくり」実践交流会）

学校運営協議会委員のさらなる当事者意識の涵養とコミュニティ・スクールの深化・発展を図るため、教職員や学校運営協議会委員を対象とした実践交流会等を実施してきた。

また、令和7年度からは、「竹原市コミュニティ・スクール連絡協議会」を立ち上げ、各校の学校運営協議会委員等が共に学ぶ場としての研修会を企画・実施するとともに、横のつながりを深め、竹原市全体のコミュニティ・スクールの取組充実を図っていく。